



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/zaike-j/>



- ・心身ともにたくましい生徒
- ・自ら進んで学ぶ生徒
- ・豊かな情操を培う生徒

## 不惑

校長 鈴木 玲

「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑はず。・・・」これは有名な『論語』の一節です。中国の思想家であり哲学者である孔子が自らの一生を振り返り、その時々について語ったものだと言われています。「四十にして惑はず」とは「四十歳になると惑わされることがなくなった」つまり、「学びを身に付けて三十歳で自立した後、四十歳を迎えた時には心の迷いがなくなった」ということなのでしょう。孔子曰く、四十歳までに蓄えた知識や経験によって「確固たる自分」が完成されるのだということです。

この論語が由来となり、四十歳のことを『不惑』<sup>ふわく</sup>と言います。

今年度、在家中は40周年を迎えました。人間で言えば『不惑』です。では、在家中として自信をもって言える「確固たる姿」とはどのようなものなのでしょう。40年間変わらないもの。校訓こそがそれであり、これまでの年月の積み重ねによって「在家中は『健全 自主 敬愛』の学校だ」と自他ともに認める校風が確立されている……はずなのです。私自身が四十歳を迎えた時に心の迷いがなくなるような「確固たる自分」があったかと言えば、答えはもちろんNOです。ただ、「自分らしさ」ぐらいならあった気がします。本校も「在家中らしさ」はあるものの、まだまだ在家中としての「確固たる姿」を確立しているとは言い難い気がします。今まさに、成長途中であり、学校としての強い骨格が形成されている最中です。不惑にして未だ途中ですが、「こうありたい」という姿を強く思い描いている限り、現時点で未完成であることは決して悪いことではありません。

『不惑』という言葉には、こんな一説もあります。本来、『惑』という漢字ではなく、『或』だったという説です。『或』という漢字は、土へんを付ければ『域』に、くにがまえを付ければ『國』(国の異体字)になることからわかるように、ある範囲に「区切ること」の意味をもちます。こちらの漢字を当てた場合、『不或』とは「区切りがない」、つまり「限界を設けない」こととなります。現状に満足することなく、これまでの経験や知識を活かしながら新しいことに挑戦し始める年齢こそ四十歳だということです。四十歳は「確固たる自分」が完成されるのではなく「凝り固まった自分」の殻を打ち破り、自分の可能性を広げる一步を改めて踏み出す【再出発地点】なのだという、これまでとは全く違うもう一つの視点をもつことができそうです。

来る11月5日(土)には学校公開を行います。各学年の授業の様子や合唱コンクールのリハーサルを公開した後、40周年記念式典を開催します。残念ながらコロナ禍のため、大々的な催しを行うことはできませんが、卒業生、先輩の先生方、支えてくださった保護者・地域の方々によって積み重ねられた40年の歴史を振り返り、「在家中らしさ」を表現するとともに、ここから更に上を目指す「限りなき挑戦」を決意する節目としたいと思います。



今年度の体育祭スローガン

『限界突破 ～ 創ろう 挑もう 新時代 ～ 』

40周年を迎え、現在、在家中ホームページの充実を図っています。日々の教育活動の様子や学校からのお知らせ等、保護者・地域の皆様に在家中中学校を、より深く知っていただくため、リニューアル中です。(こちらにも進化の途中です！)

ぜひ、定期的に覗いていただくとありがたいです。また、お気づきの点がございましたら何なりとお申し付けください。

在家中中学校区の『絆』を深めるホームページ。  
上記QRコードからお入りいただけます！